

# ITU-R SG7 WP7B 会合(2024年9月)

## 報告書(案)

### 1. 会合の名称

ITU R Study Group 7(SG7) Working Party 7B (WP7B)  
(宇宙研究、宇宙運用及び気象衛星等の宇宙無線システムに関する作業部会)

### 2. 開催日程

2024年9月18日(水)～9月27日(金)

### 3. 開催場所

カザフスタン(アルマトイ) ノボテルアルマトイシティセンター及びリモート会議

### 4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

WP7B は、科学業務を扱う第 7 研究委員会(SG 7)の作業部会であり、宇宙研究(SRS)、宇宙運用(SOS)、気象衛星(MetSat)等の宇宙無線システムを扱っている。

WP7B は、Catherine SHAM 氏(米国)が議長代理を務め、今会合においては、表 1 に示す Sub-Working Group(SWG)が設置された。

今回会合は、37 か国の主管庁、3 の ROA\*や他団体及び ITU 事務局から合計 238 名が出席した。日本からは、表 2 に示す12名が出席した。

本会合においては、70 件の入力文書について審議が行われ、計 27 件の出力文書が作成された。

表 3 に入力文書一覧を、表 4 に出力文書一覧を示す。

\*:認められた事業体(Recognized Operating Agency)

表 1 WP7B の審議体制

WP/WG/SWG	検討案件	議長/議長代理	
WP7B Plenary	SWG に割り当てられない文書、及び複数の SWG で作業を分担する文書。	Catherine Sham 氏(米国)	
DG Space Sustainability	衛星軌道の資源の持続可能な利用	Catherine Sham 氏(米国)	
SWG7B-1	静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等 (WRC-27 議題 1.1, 1.2, 1.6, 1.7, 1.11 (SOS s-E 関連), 1.12*, 1.13*, 1.14*)	Ted Berman 氏(米国)	
	DG AI 1.7	WRC-27 議題 1.7 に関する WP5D 宛リエゾン文書の作成	Katharina Andersen 氏(ESA)
	DG SA.[2 GHZ SOS CHAR]	ITU-R 新勧告/報告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] の草稿案	廣谷 奈々美氏(日本)
SWG7B-2	静止軌道以遠の SRS 及び SOS 等 WRC-27 議題 1.15、及び同議題と対象が重複する議題(WRC-27 議題 1.7, 1.11, 1.13, 1.19)	Kevin Knights 氏(オーストラリア)	
SWG7B-3	地球探査衛星業務(EESS)及び気象衛星(MetSat)業務等 WRC-27 議題 1.12**, 1.13**, 1.14**, 1.17, 1.19, 1.11 (EESS)	Philippe Tristant 氏(欧州気象衛星開発機構)	

\* 新 ITU-R 勧告/報告草案 SA.[2 GHz SOS Char]を含む

\*\* 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR],に向けた作業文書、及び WRC-27 議題 1.12, 1.13, 1.14 に関連する WP4C 宛リエゾン文書の作成

表 2 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属
1 糸 将之	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
2 伊藤 有希	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
3 横山 隆裕	一般社団法人 電波産業会 研究開発本部
4 橋本 昌史	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
5 市川 麻里	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
6 岩名 泰典	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
7 廣谷 奈々美	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
8 繁田 勉	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室

9	増田 宏一	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (宇宙技術開発株式会社)
10	福原 好晴	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (宇宙技術開発株式会社)
11	三留 隆宏	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (スカパーJSAT 株式会社)
12	福井 裕介	KDDI 株式会社 コア技術統括本部技術企画本部衛星統括部
13	伊藤 直	KDDI 株式会社 先端技術統括本部先端技術企画本部ビジネス企画室
14	片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.

表 3 WP7B への日本寄与文書の審議結果

文書番号 7B/*	件名	担当 SWG	審議結果	出力文書 7B/TEMP /*
82	新 ITU-R[勧告/報告]草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR]	SWG7B-1 (DG SA.[2 GHZ SOS CHAR])	日本からの提案のとおり、本文書は勧告とすることが合意され、また、パラメータや構成の見直し等の改訂がなされた。本文書は、次回会合での最終化に向け、議長報告書に添付された。	33
83	新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR]	SWG7B-2	日本からの提案のとおり、ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] に向けた作業文書は改訂され、議長報告書に添付された。	40

## 5. 審議の内容

### 5.1 WP7B プレナリ

Catherin Sham 氏(米国)が議長代理を務め、プレナリの入力文書、各 WG からの出力文書について審議した。

入力文書：7B/35+Ann.1-12(WP7B 議長代理)、36(WP7C)、40(CCV 議長)、50(WP5B)、51(SG 4)、52(WP5B)、53(WP5C)、54(WP5C)、55(WP5C)、57(WP3K&3M)、59(WP3J&3M)、60(WP3L&3M)、62(WP3M)、69(WP5D 宛返答リエゾン文書作成に関する CG コンビナー)、70(アゼルバイジャン)、71(Brazil)、92(ドイツ)

議長報告に添付:7B/TEMP/15、18、25、26、27、29、30、  
33、34、35R1、37、40)  
リエゾン文書案:7B/TEMP/16、17R1、19、20、21R1、24、  
28、31、36、38、39R1、41、42、43  
(TEMP/22と23は別の文書の一部に統合、32は取り下げ)  
出力文書: SG7へ上程した文書:なし  
WP7B議長報告:7B/97 Annex 1-12  
他 WP宛リエゾン文書:14件

〔結論〕

14件の他 WP宛リエゾン文書を承認し、送付した。  
12件の TEMP 文書を議長報告書に添付し、継続審議とした。  
1件の TEMP は議長報告の一部に採用された。

無線通信規則 1.63、1.64 等で使用されている「大気圏の主要部分」の定義の修正提案は、SG で検討すべき範囲を超えているとして議論は行わないことになった。

〔主な議論〕

(1) プレナリ審議文書

- ・ 前回 WP7B 会合議長報告(7B/35)
  - ・ 2024年3月に開催された WP7B 会合の報告書については、4月に公開されて以降特に修正の提案等もなかったことが WP7B 議長代理から報告され、質疑なく承認された。WRC-27 議題 1.7 に関する WP5D 宛リエゾン文書に関する CG の報告(7B/69)
    - 2024年3月会合で設置された WP5D 宛返答リエゾン文書に関する Correspondence Group(CG)の活動と、作成された文書(7B/69)が紹介された。同 CG は、ToR(7B/35 Annex 12)に従い必要な情報の収集を行い、8月に活動を完了した。
    - CG のコンビナー(Andersen 氏(ESA))から、CG を通して、2つの提案がまとめられたが、1つに収束することはできなかったことに加え、CG の作業範囲は情報の収集と整理であり、結論を出すことはなかったため、今回の会合で改めて審議し決定を行う必要があることが説明された。
    - リエゾン文書の内容については WP7B で改めて審議が必要であることが確認され、詳細な議論は SWG 7B-1 で行われることとなった。
  - ・ 無線通信規則第 1 章 1.63 条、1.64 条等で使用されている「大気圏の主要部分」の定義(7B/70(アゼルバイジャン))
    - アゼルバイジャンから、無線通信規則第 1 章の 1.63 条、1.64 条及び 1.178 条で使用されている「大気圏の主要部分(Major portion of the Earth atmosphere)」という表現について、その高度を明記した定義とすべきであるとする提案(7B/70)が説明された。本提案については、主に以下のような発言があり、結論として、本提案は WP7B で議論しないことで合意された。
- ◇ 米国からは、前研究会期 WRC-23 議題 1.6 においてかなりの時間を費や

して議論を行ったが、同議題に関連しての WRC での結論は変更なし(NOC)であった。他の機関では別の定義が行われているのは承知しているが、大気圏と宇宙の境界は国家主権の境界に関係するものであり、それをそのまま適用できるものではない、との説明があった。

- ◇ カウンセラからは、本トピックは無線通信規則第 1 条の定義の変更であり ITU-R の SG における研究のマンデートの範囲外であることから、WRC に持ち込むべき内容であるとの説明があった。
- ◇ イランからは、これは WRC で議論されるべき内容であり、そのためにはアゼルバイジャンが直接寄与文書を提出するか、議題 9.2 の一部とするように働きかけるかが考えられるとした上で、第 1 条の定義の変更提案は非常に実現が難しいというのが半世紀にわたる ITU での経験からの感触であり、近年の WRC は極端に負荷が係っており、このような内容を議論する余裕がないとの見解が示された。
- ・ 語彙ラポータの任命と ITU-R 用語と定義のデータベースの更新(7B/40(CCV 議長))
  - 質疑なく情報として了知された。
- ・ ITU-R 決議 74 に関する活動(衛星軌道の資源の持続可能な利用(7B/51(SG 4)))。
  - 本文書については、リエゾン文書への返答案(7B/92(ドイツ))が提出されており、ドイツから内容が説明された。本件については、WP7B 議長代理が中心となって、Drafting Group(DG)を設置して審議が行われリエゾン文書案(7B/TEMP/42)が作成された(第 5.1.1 項を参照)。プレナリで同リエゾン文書案を承認し、WP4A に送付した。
- ・ 第 67 回国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)の報告(7B/71(ブラジル))
  - 2024 年 6 月に開催された、COPUOS における議論の内容等が紹介された。特に質疑はなく情報として了知された。ITU-R 決議 74 に関する議論とも関連する内容であるため、WP4A 宛返答リエゾン文書の作成の参考とすることとされた。
- ・ WRC-27 議題に関連する他 WP からのリエゾン文書
  - 7B/42(WP4C)WRC-27 議題 1.11 に関連して、寄与グループから技術情報を求めるリエゾン文書
    - ◇ 本文書は担当する SWG でも審議されるが、本議題で扱われる周波数帯には複数の SWG で担当する業務が含まれていることを考慮し、情報が網羅できているかを確認するデューデリジェンスを行うため、プレナリでも審議され、その後、各SWGで議論した結果を統合したリエゾン文書が作成され、プレナリで審議された(7B/TEMP/20)。
  - また、以下のリエゾン文書は WP7B にはコピー送付されたものであり、詳しく審議しない方針が説明された。全て質疑なく了知された。

文書番号 (7B/*)	提出元	関連 WRC-27 議題※
36	WP7C	1.1
50	WP5B	1.2
52	WP5B	1.7
53	WP5C	1.19

54	WP5C	1.7
55	WP5C	1.13
57	WP3K&3M	1.7
59	WP3J&3M	1.19
60	WP3L&3M	1.11、1.12、1.13、1.14
62	WP3M	1.1

※これらの議題について、WP7B は寄与グループに指定されている。

(2) WP7B の構成の更新と、傘下の SWG、DG の ToR

- ・ WP7B 議長代理から、SWG 間の負荷の調整を行ったことが説明された。特に、WRC-27 議題の割り当てで各 SWG の作業負荷に偏りがあったため、次の通りに修正された。一部の議題については複数の業務が関連するため、それぞれの業務を担当する SWG に分割して割り当てられることになった(7B/ADM/7)。具体的な SWG の構成については表1参照)。
- ・ なお、WP7Bは WRC-27 議題1. 15の責任グループとなっており、表1に示したその他の議題については寄与グループに指定されている。なお、今回会合でWRC-27議題1. 1、及び1. 17については、関連性が薄いとして寄与グループから削除することを CPM マネジメントに要望することで合意した。

(3) WP7B 外へ出力する文書の検討

- ・ 審議の結果、各 SWG から承認を求められた 14 件のリエゾン文書案が次の通り承認された。

文書番号 7B/TEM P/*	送付先	題目・関連 WRC-27 議題	担当 SWG/ DG
16	WP4A	WRC-27 議題 1.1 に関する返答	7B-1
17 Rev.1	WP4A	WRC-27 議題 1.2 に関連した研究のための技術情報	7B-1
19	WP3J	WRC-27 議題 1.15 に関連した WP3J からの質問への回答	7B-2
20	WP4C	WRC-27 議題 1.11 に関連した研究のための技術情報に関する返答	7B-2
21 Rev.1	WP7C	WRC-27 議題 1.17 に関する返答	7B-3
24	WP4C	WRC-27 議題 1.11 に関連した研究のための技術情報	7B-2
28	WP7C	WRC-27 議題 1.19 に関連した研究のための技術情報	7B-3
31	WP1B、3J、 4A、4C、5A、 5B、5C、5D、 7A、7C 及び	WRC-27 議題 1.15 関連作業の進捗報告	7B-2

	7D		
36	WP5D	7145-7190MHz で運用される SRS (deep-space)と IMT との調整(WRC-27 議題 1.2)	7B-2
38	WP5D	WRC-27 議題 1.7 と 1.15 の重複に関する情報	7B-2
39Rev.1	WP4A	WRC-27 議題 1.6 に関連した情報送付の依頼	7B-1
41	WP4C	WRC-27 議題 1.12, 1.13, 1.14 に関連した研究のための技術情報及び 議題 1.15 との重複に関する情報	7B-3
42	WP4A	PP 決議 219 及び ITU-R 決議 74(衛星軌道の資源の持続可能な利用)に関するリエゾン文書への返答	DG Space Sustainability
43	WP5D	WRC-27 議題 1.7 に関連した研究のための技術情報	7B-1

(4) WP7B にて更なる検討を要する文書の検討

以下の文書を議長報告(7B/97)に添付し、継続審議とすることとした。

【SWG 7B-1】

- ・ ITU-R 勧告 SA.1743-0 改訂作業に係る要素文書(7B/TEMP/15)
- ・ ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂草案(7B/TEMP/18)
- ・ 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] (7B/TEMP/33)

【SWG 7B-2】

- ・ 月 SRS 運用の代表的特性とコンセプトに向けた作業文書(7B/TEMP/29)
- ・ 新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES](7B/TEMP/30)
- ・ WRC-27 議題 1.15 の作業計画(7B/TEMP/35 Rev.1)
- ・ Space research communication ハンドブックの改訂草案(7B/TEMP/37)
- ・ 新 ITU-R 報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] (7B/TEMP/40)

【SWG 7B-3】

- ・ ITU-R 報告 SA.2488-0 改訂草案に向けた作業文書(7B/TEMP/25)
- ・ ITU-R 勧告 SA.514-3 改訂草案に向けた作業文書(7B/TEMP/26)
- ・ 新 ITU-R 勧告草案 ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR]

(7B/TEMP/27)

- ・ 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ]に向けた作業文書 (7B/TEMP/34)

(5) 次回会合の日程

- ・ 次回会合については、会合終了時点において 2024 年 3 月 31 日から 4 月 10 日まで、ジュネーブの ITU 本部での開催が予定されていた。
- ・ ただし、この期間がジュネーブの時計見本市と重なることから、カウンセラからは日程または開催地の変更の可能性があることが留意された。

### 5.1.1 Drafting Group (DG) Space Sustainability

Catherine Sham 氏(米国)が議長を務め、ITU 全権委員会決議第 219 及び ITU-R 決議第 74 に関する衛星軌道の資源の持続可能な利用について、SG 4 への返信連絡文書案を審議した。

入力文書: 7B/51、7B/92

出力文書: WP 4A への返答連絡文書草稿案(7B/TEMP/42)

〔結論〕

WP 4A への返信連絡文書の草稿案を審議し、プレナリに上程した。

〔主な議論〕

- (1) ITU 全権委員会(PP)決議第 219 及び ITU-R 決議第 74(RA-23)に基づく衛星軌道の資源の持続可能な利用について、WP 7B が、SG 4 から SG 7 へ送付された連絡文書(7B/51)への対応の担当に割り振られた。
- (2) ドイツは、SG 4 への返信連絡文書案を提案(7B/92)したが、米国及びイランがプレナリで懸念を示したため、米国が修正案を検討し、Drafting Group で審議した。
- (3) その後、会議外も含めて DG 議長、米国、ドイツ、イラン、フランス、ブラジル及び日本で議論が交わされた。
- (4) ITU-R 決議第 74(RA-23)に関する取組みへの WP 7B の見解の説明、及び本件への WP 7B の活動に関する説明の一部については合意に至らず、暫定としたまま、WP 4A への返信連絡文書の草稿案をプレナリに上程した。

### 5.1.2 SWG 7B-1(静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等)

Ted Berman 氏(米国)が議長を務め、会期中に合計 7 回の審議を行い、割り当てられた文書の審議と、2 つの DG から提出された出力文書について審議した。

入力文書: 7B/35 Annex 4、8、10、11、12、

7B/37(WP7C)、42(WP4C)、46(WP4A)、47(WP4A)、61(WP3M)、66(WP5D)、69(議題 1.7 関連 WP5D 宛返答リエゾン文書作成に関する CG のコンビナー)、72(米国)、77(米国)、78(米国)、79(米国)、80(カナダ)、82(日本)、85(韓国)、88(エジプト)、90(フランス)

出力文書: 7B/TEMP/15~17(Rev.1)、18、33、39(Rev.1)、43

#### 〔結論〕

WRC-27 議題 1.7 に関連する WP5D 宛返答リエゾン文書案を検討する DG)DG AI 1.7 及び新 ITU-R 勧告草案 SA.[2GHz\_SOS\_Char]の編集を行う DG(DG DG SA2 GHz SOS CHAR)を設置し、審議を進めた。

他 WP 宛のリエゾン文書を合計 4 件作成し、送付に合意した。

新勧告草案 1 件を更新し、次回会合に持ち越すことで合意したほか、今回会合に入力文書がなかった 1 件の勧告改訂草案と、1 件の勧告改訂に向けた要素文書も議長報告に添付して次回会合に持ち越すことで合意した。

#### 5.1.2.1 WRC-27 議題 1.1、1.2 及び 1.6 関連リエゾン文書

##### (1) WRC-27 議題 1.1

- ・ WRC-27 議題 1.1(47.2-50.2 GHz 及び 50.4-51.4 GHz 帯(↑)における固定衛星業務の静止衛星及び非静止衛星宇宙局と通信する移動する地球局の使用のための技術上、運用上、規則上の手段の検討)に関連して、責任グループである WP4A から寄与グループに対して共用・両立性検討に使用する技術・運用特性や保護基準などの情報の提供を依頼するリエゾン文書(7B/47)が送付されていた。
- ・ EUMETSAT から WP7B には所掌する業務の分配は存在しておらず、提供できる情報はないとの指摘があった。WP7B 議長代理からの助言を得て、SG 7 議長を通して CPM マネジメントに対して正式にこの議題の寄与グループから WP7B を外すよう申し出る文書を送付することが提案され、合意された。
- ・ また、WP4A に対しては①本議題の対象周波数帯には WP7B の所掌である業務が存在しないこと、及び②CPM マネジメントに対し寄与グループから外すよう要望するノートを送付する予定であることを知らせるリエゾン文書案が作成され、WP7B プレナリで承認された(7B/TEMP/16)。

##### (2) WRC-27 議題 1.2

- ・ WRC-27 議題 1.2(13.75-14 GHz 帯(↑)における固定衛星業務の小口径アンテナを有する地球局の使用のための共用条件の改正の検討)に関連して、責任グループである WP4A から寄与グループに対して共用・両立性検討に使用する技術・運用特性や保護基準などの情報の提供を依頼するリエゾン文書(7B/46)が送付された。また、米国からは 13.75-14.0 GHz 帯で運用されている SRS のシステムの技術運用特性を知らせる内容のリエゾン文書案が入力文書として提出された(7B/78)。なお、7B/61(WP3M)も本 SWG に割当てられたが、本リエゾン文書は、同議題に関連して WP4A が送付したリエゾン文書(7B/46)へ返答したものであり、WP7B にはコピー送付されたものであるため、情報として了知された。
- ・ 米国案を元にリエゾン案を作成した。主に本文に記載されていた対象となる米国とロシアのシステムの名称を削除するなどの修正を行い、一旦プレナリで審議された

が、文中の「表」が何を指しているか分からないなどの問題が指摘され、SWG に差し戻された。

- ・ プレナリで指摘された、文中に出てくる「表」は、リエゾン文書中の表ではなく引用元の勧告の表番号であることを示すなど、改めて文章の明確化を行った後、WP7B プレナリで再度、審議され、コピー送付先の修正などを行った上で承認され、WP4A に送付された(7B/TEMP/17 Rev.1)

### (3)WRC-27 議題 1.6

- ・ WP7B は WRC-27 議題 1.6 (37.5-42.5GHz (宇宙から地球)、42.5-43.5GHz (地球から宇宙)、47.2-50.2GHz (地球から宇宙)、50.4-51.4GHz (地球から宇宙)における固定衛星業務の衛星ネットワーク/システムの公平なアクセスのための技術的・規制的措置の検討)の寄与グループとなっているが、議題は固定衛星業務同士の関係であるため、WP7B には技術情報等の送付を求めるリエゾン文書は送付されていない。
- ・ 当初、対象周波数帯には、Co-primary の EESS と SRS の既存または計画中のシステムが存在することから、責任グループの WP4A に対し、必要であればリエゾン文書を送付するよう依頼するリエゾン文書を送ることが検討された。
- ・ しかし、議論の中で、当該周波数帯において、共用条件に何らかの変更が発生する可能性が指摘されるなど懸念が表明されたことから、より具体的に Co-primary の EESS と SRS の存在を明記した上で、今後も情報を送付するよう依頼する内容のリエゾン文書案を作成し、WP4A 宛てに発出した(7B/TEMP/39R1)

### 5.1.2.2 WRC-27 議題 1.7 に関連した WP5D 宛リエゾン文書

WRC-27 議題 1.7 (既存一次業務を考慮した、4400-4800MHz、7125-8400MHz(またはその一部)、及び 14.8-15.35GHz における IMT 使用のための共用・両立性検討、及び技術的条件の策定)に関連して、2024 年 3 月会合では設置された「WRC-27 議題 1.7 に関連した WP5D 宛リエゾン文書に関する CG」のコンビナーを務めた Andersen 氏(欧州宇宙機構)が DG 議長を務め、7 回の審議を通して WRC-27 議題 1.7 に関連する共用・両立性検討に必要な技術情報を伝えるリエゾン文書案を作成した。DG の時間内に合意できなかった箇所については引き続き SWG 7B-1 において審議が続けられた。便宜上 SWG での議論も本項目に記載する。

#### (1) 寄書紹介

- ・ 7B/37(WP7C)  
WP7C が WP4A 宛に送付した技術特性情報で、WP7B にはコピー送付であるため了知した。
- ・ 7B/66(WP5D)  
各 WP から、WP5D が送付した最初のリエゾン文書に対する返答があったことに感謝を述べ、共用・両立性検討に必要な情報について、更なる情報提供を求める内容である。返答リエゾン案の作成を目指すことになった。
- ・ 7B/69(「WRC-27 議題 1.7 に関連した WP5D 宛リエゾン文書に関する CG」のコンビナー)  
2024 年 3 月会合で合意した CG の成果文書(リエゾン文書案)である。CG コンビナーから、活動の終盤で提出された中国案は統合が難しかったことから、Option 2 として追加したことが説明された。CG のタスクはあくまでも情報の収集と整理で

あるため、リエゾン文書案の内容については WP7B におけるコンセンサスにより決定することが確認された。

- ・ 7B/79(米国)  
リエゾン文書に 8025-8400 MHz の EESS システムの特性を追加することを提案する内容である。
  - ・ 7B/85(中国)  
中国が CG に提出した文書と同一であり、7B/69 に Option 2 として含まれていることが確認された。
  - ・ 7B/87(韓国)  
リエゾン文書案に直接加筆修正を行うものではなく、懸念点を列挙した内容であるため、作業文書への統合方法が検討され、関連する項目の近くに Note として追加し都度考慮することになった。
  - ・ 7B/88(サウジアラビア・UAE)
  - ・ 7B/90(フランス・ドイツ)  
これら 2 件はそれぞれが対象周波数帯において運用している科学業務のシステムの技術特性を追加する内容である。
- ・ CG が作成したリエゾン文書案を基にすべての文書を統合した作業文書が作成され、審議された。

## (2) 今会合で WP5D に送付するリエゾン文書の位置づけ

- ・ 2024 年 3 月の会合で、WP7B は本議題の対象周波数帯別に WP7B 所掌の業務と、それらの技術特性や保護基準に関する ITU-R 勧告・報告のリストをリエゾン文書として送付した。このリエゾン文書には、既存の ITU-R 勧告・報告には含まれていないが MIFR に登録されている既存のシステムの技術情報、及び既存勧告についても今後改訂される可能性があることについて伝達していた(5D/92)。
- ・ この時、収集しきれなかったシステムの情報や、保護基準の適用手法、デプロイメントシナリオなど、より詳細な内容は今回会合で作成するリエゾン文書に掲載することで基本的に合意しており、その作業を行うための CG が設置され、2024 年 8 月まで、情報収集が行われた。
- ・ 米国は、今回作成するリエゾン文書においては、前回会合で送付した情報は重複するため含めるべきではないと主張した。Annex に含まれる文章、及びその Attachment に掲載されていたシステムの一部は削除された。しかし、米国による、すでに送付した ITU-R 勧告に含まれる情報について、一部を抽出して解説すべきではなく、解説は削除すべきであるとの主張については、ロシア、フランス、ESA が、専門家グループとして適切な勧告の適用のための情報が必要であると反論し、受け容れられなかった。

## (3) 7190 – 7250 MHz 帯の EESS(地球-宇宙)の扱い

- ・ EESS(地球から宇宙)は議題の対象の周波数帯に含まれる7190-7250MHz に一次分配されており、前回会合で送付したリエゾン文書でも、対象周波数帯の一部として掲載し、また米国が提出した寄与文書に基づき、既存 ITU-R 勧告/報告には収録されていないシステムの一つとして一部技術・運用特性を送付していた。
- ・ 今回会合においても、フランス、ドイツ、ロシア、ESA 等はこれを対象の一次業務として含めることを提案していたが、米国が次のような理由でこれに強く反対し、全体

から削除することを主張した。米国の主張には、韓国、Ericsson、Qualcomm が同調した。

- ① EESS 地球局から IMT の局への干渉の検討は議題のスコープ外である
  - ② この周波数帯における EESS(地球-宇宙)は、RR 脚注 5.460A により既存及び将来の固定・移動業務の局からの保護を求めないとされており、本議題の共用検討は不要である。
  - ③ WP7B がこの情報を送付することによって、逆方向の検討をすべきであることが示唆され得る
  - ④ 科学業務側は、RR 脚注 5.460A を修正することを目指している。(この主張については、本議題の責任グループは 5D であり、脚注の修正は議題の一部ではない旨が説明され、退けられた)
- ・ 一方、フランス、ドイツ、ロシア、ESA らは以下のように反論した。
    - ① 前回送付したリエゾン文書においては対象業務として伝達しており、既に一部のシステムの情報(米国が提供したものは WP5D に送付している。
    - ② 共用検討で両方向について検討するのは当然である。
    - ③ WP5D から、WP7B は技術特性の提供を求められているのであるから、存在する情報を区別なく送付するのが役割であり、それを受領してどのシナリオの検討を行うべきかを判断するのは、責任グループの WP5D の役割である。
    - ④ IMT は移動業務の一般的なアプリケーションではなく、共用環境を大きく変える可能性があり、新規参入時には同様に共用検討すべきである。
    - ⑤ 「保護を求めない」ことは共用検討を禁止することではない
  - ・ 欧州・ロシア勢は、過去に IMT が新規参入することにより、新たな EESS 地球局設置のライセンスが下りなくなったなどの影響を受けたことがあるとして、共用検討は全く不要であるとの主張に反発した。
  - ・ DG 議長からは、当初から「WP7B が提供する情報は、共用検討を求めるものではない」旨を記載したうえで、共用検討に必要な技術的情報は送付するという方針を模索した。最終的には、以下のとおりの妥協が成立した。
    - ① 対象周波数帯に存在する業務のリストからは 7190-7250 MHz 帯の EESS (地球-宇宙)を削除する。
    - ② 7190 - 7250 MHz 帯の EESS(地球-宇宙)のシステムの技術特性は、当該脚注を参照したうえで参考情報として掲載する
    - ③ この周波数帯の EESS(地球-宇宙)の保護基準に関する記述はすべて削除する
  - ・ また、これらの記載はすべて Annex のみに残され、当初想定されたりエゾン文書の本文部の記述からは削除された。

#### (4) 劣化配分に関する議論

- ・ ITU-R 勧告 SA.1743-0(他の電波源からの発射および放射による干渉に起因する、宇宙研究及び宇宙運用業務の無線通信リンクの最大許容劣化)においては、SRS に対するインバンドと OoB のあらゆる干渉源からの最大許容劣化のガイダンスを定めているが、インバンドの干渉源からの最大干渉は 99%と定めている。7190 - 7235 MHz におけるカテゴリー1(SRS 同士)とカテゴリー2(固定・移動業務、EESS)の間の干渉配分は、WP7B でさらに検討が必要とされており、明記されていない。これについて、CG からの出力ではカテゴリー1 とカテゴリー2 の配分を均等とし、さらにカテゴリー2 の中でもそれぞれを均等に配分する方法が記載されていたが、米国は ITU-R 勧告で定められていない数値を使用すること、及び

IMT に関する計算を行っていることに関して強く反対したが、フランスは、SRS 同士の干渉に一定の配分されることを明示的に伝えるべきであると主張した。

- ・ 米国が、既存の勧告では明示されていない劣化配分の比率を伝達することに強く反対し、イランがまだ WP5D において劣化配分の計算を必要とする段階にはないとりなしたことから、フランスから①一定の劣化配分は SRS 同士に与えられる必要があること、②現在同勧告は改訂作業中であり、今後進展すれば WP5D に伝達することと記述することで合意した。

#### (5) 各国から提案された技術・運用特性の掲載方法

- ・ 各国から提出された寄与文書に含まれるシステム諸元の表は形式が統一されておらず、それぞれの周波数帯/業務ごとにまとめることが検討されたが、時間的な制約があり、また別の形にすることで新たな問題が発生する可能性があることなどから断念した。
- ・ すべてのシステムについては衛星やミッションを特定することなく、「代表的 (representative)」とすることで合意し、システムの名称や国を削除した。また、それぞれにつけられた仮の名称は (System A、など)、一意の名称となるように全体を修正した。

#### (6) 中国の寄与文書の扱い

- ・ 中国の寄与文書は、既に議論が進められていた CG の文書と全く異なる形であったことから、近い内容の箇所と並列して議論されたが、内容が重複していることなどからほとんどの箇所で採用されなかった。

#### (7) 結論

- ・ DG AI 1.7、及び SWG7B-1 における議論を経て、リエゾン文書案 (7 B/TEMP/43) が合意された。プレナリにおいては、イランから「下位グループで十分に議論がつくされた内容である」として、一括での承認が提案された。リエゾン文書案は承認され、WP5D 宛てに発出された。

### 5.1.2.3 Drafting Group (DG) SA.[2 GHZ SOS CHAR]: ITU-R 新勧告/報告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] の草稿案

廣谷 奈々美氏(日本)が議長を務め、ITU-R 新勧告/報告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] の草稿案について審議した。

入力文書: ITU-R 新勧告/報告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] 統合案

出力文書: ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] 草稿案

#### 〔結論〕

ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHZ SOS CHAR] の草稿案を審議し、SWG に提出した。

#### 〔主な議論〕

- (1) 本文書は勧告とすることで合意された。
- (2) WRC-27 議題 1.12、議題 1.13 及び議題 1.14 のための共用検討及び両立性検討に供される技術・運用特性とすることを検討していることが確認された。
- (3) ITU-R 勧告にて、2025~2110 MHz 及び 2200~2290 MHz 帯における最大帯域幅を 6.2 MHz 以下とする(周波数拡散は除外)ことが勧告されているが確認さ

れた。

- (4) 非静止軌道の高高度軌道のミッション情報がないため、今回の会合では WP7B 議長報告書に添付し、次回の会合(2025年3月~4月開催予定)にて寄与を促し、次回会合にて作業を完了することが確認された。

#### 5.1.2.4 ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂草案の更新

- ・ 本文書は、2024年3月会合で、WRC-23 議題 1.13(14.8-15.35 GHz 帯に二次分配されている宇宙探査業務の一次分配への格上げの検討)の結果、PFD 制限が課されたことから、これに合わせて同議題の研究のために作成された ITU-R 勧告 SA.2141-0(14.8-15.35 GHz 帯で運用される SRS システム)に含まれる一部の SRS 宇宙局の送信諸元の修正とそれに伴い受信地球局の諸元の変更を提案したもので、特に異論はなく勧告改訂草案として持ち越されたものである。今回会合では SWG 議長から、一部に明らかに誤記があったとしてエディトリアルな修正が提案され、特に議論はなく合意された。議長報告に添付され、持ち越される(7B/TEMP/)。

#### 5.1.2.5 ITU-R 勧告 SA.1743-0 改訂作業に係る要素文書の検討

- ・ ITU-R 勧告 SA.1743-0(他の電波源からの発射および放射による干渉に起因する、宇宙研究及び宇宙運用業務の無線通信リンクの最大許容劣化)は、2015-2019 研究会期で改訂の必要性があることでは合意され、改訂草案が作成されていたものの進捗はなく、前研究会期最後の 2023 年 10 月会合において持ち越されてきた勧告改訂草案を破棄し、今研究会期に新たに作業を開始することで合意し、ESA の入力文書を基に検討すべき論点をまとめた「ITU-R 勧告 SA.1743 改訂作業に係る要素文書」が作成され、議長報告に添付されて持ち越されていた。
- ・ 今会合にも新たな寄与文書がないことが、SWG 議長から説明され、同じ文書を議長報告に添付して持ち越すことで合意した。

#### 5.1.3 SWG 7B-2(静止軌道以遠の SRS 及び SOS 等(WRC-27 議題 1.15、及び同議題と対象が重複する議題(WRC-27 議題 1.7, 1.11, 1.13, 1.19)を含む))

Kevin Knights 氏(オーストラリア)が議長を務め、出力文書について審議した。

入力文書: 7B/35 Annex1(WP 7B議長)、7B/35 Annex 2(WP 7B議長)、7B/35 Annex 3(WP 7B議長)、7B/35 Annex 7(WP 7B議長)、7B/38(WP 7C)、7B/41(WP 4C)、7B/42(WP 4C)、7B/48(WP 4A)、7B/49(WP 5B)、7B/56(WP 5C)、7B/58(WP 3J)、7B/64(WP 5D)、7B/65(WP 5D)、7B/67(CPM-27議長)、7B/68(WP 5D)、7B/74(米国)、7B/75(米国)、7B/81(WP 5D議長代理及びWP 7B議長代理)、7B/83(日本)、7B/84(中国)、7B/89(ロシア)

出力文書: 7B/TEMP/19 、 7B/TEMP/20 、 7B/TEMP/22 、 7B/TEMP/24 、 7B/TEMP/29 、 7B/TEMP/30 、 7B/TEMP/31、7B/TEMP/35 Revision 1、7B/TEMP/36、7B/TEMP/37、7B/TEMP/38、7B/TEMP/40

〔結論〕

21 件の寄与文書を審議し、プレナリへ 12 件の暫定文書を上程した。

〔主な議論〕

(1) WRC-27 議題 1.15 に関する活動の作業計画案

- ・ WRC-27 議題 1.15 の活動の作業計画(7B/35 Annex 1)を審議した。
- ・ 作業計画に更新や変更等はないことが確認された。
- ・ イランから、決議第 680 にて要請されている無線通信局長の報告は議題 9.1 に基づくもので、主管庁が提案するものであり、研究委員会や作業部会が提案するものではないことが指摘されたことから、無線通信局長への覚書の検討の要否については WP7B 議長代理に確認するとして編集者注記として記録された。
- ・ WP7B 議長報告書に添付するため、プレナリへ暫定文書(7B/TEMP/35)を上程した。
- ・ なお、プレナリでの審議の前に、暫定文書は改訂(7B/TEMP/35 Revision 1)され、無線通信局長への覚書に関する作業及び関連する編集者注記は削除された。

(2) WRC-27 議題 1.15 に基づく研究のための他の作業部会から受領した返信連絡文書の確認

- ・ WRC-27 議題 1.15 のための共用・両立性検討のために、WP 4C から受領した、固定衛星業務及び無線標定業務の分配周波数、技術特性及び保護基準を提示する返信連絡文書(7B/41)を確認した。
- ・ WP 4C に、技術及び運用特性の追加情報について、日本からの指摘に基づき、共用・両立性検討のために受信アンテナ利得、受信アンテナパターン及び受信システム雑音温度の提供を、ロシアからの指摘に基づき、受信アンテナパターンの提供を要請することになった。
- ・ WP 4C へ送付する連絡文書案を審議し、プレナリへ上程(7B/TEMP/20)した。
- ・ WRC-27 議題 1.15 のための共用・両立性検討のために、WP 3J から受領した電波伝搬に関する返信連絡文書(7B/58)を確認した。
- ・ WP 3J からの問い合わせに回答する連絡文書案を審議し、プレナリへ上程(7B/TEMP/19)した。
- ・ WRC-27 議題 1.15 のための共用・両立性検討のために、他の作業部会から受領した以下の返信連絡文書を了知した。
  - ◇ 7B/48(WP 4A)  
固定衛星業務の分配周波数
  - ◇ 7B/49(WP 5B)  
移動業務及び航空移動業務の分配周波数、技術特性及び保護基準
  - ◇ 7B/56(WP 5C)  
固定業務の分配周波数、技術特性及び保護基準
  - ◇ 7B/64(WP 5D)  
IMT 基地局としての高高度プラットフォーム局の特定周波数、技術特性及び保護基準
  - ◇ 7B/65(WP 5D)

## IMT の特定周波数、技術特性及び保護基準

### (3)WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 で重複している周波数帯についての検討 (2483.5~2500 MHz)

- ・ WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 で重複している周波数帯についての検討に関して、WP 4C から受領した検討状況を連絡する連絡文書(7B/42)を確認し、SWG 7B-1、SWG 7B-2 及び SWG 7B-3 での共同で、それぞれが担当する業務に関して返信連絡文書案を審議した。
- ・ SWG 7B-2 からは、WRC-27 議題 1.15 にて月軌道から月面の測位にて 2483.5~2500 MHz 帯の使用が提案されていることを通知し、WP 3J から提供された月軌道から静止・非静止軌道までの離隔距離及び伝搬損失について提供することとした。
- ・ また、すでに情報提供を依頼している移動衛星業務の宇宙から地球に追加して、宇宙から宇宙の通信の情報の提供を要請することとなった。
- ・ WP 4C への連絡文書案を審議し、プレナリへ上程(7B/TEMP/24)した。

### (4)WRC-27 議題 1.15 と議題 1.7 で重複している周波数帯についての検討(7190~7235 MHz)

- ・ WP 5D 議長代理及び WP 7B 議長代理から、WRC-27 議題 1.7 と議題 1.15 で重複している周波数帯についての共用・両立性検討に関する見解(7B/81)が示された。
- ・ また、WP 5D 議長代理は、2024 年 10 月に開催される WP 5D 会合にて、WP 7B へ連絡文書にて情報を提供することを説明した。
- ・ 米国は、WP 5D 議長代理及び WP 7B 議長代理が示した、地上の IMT システムと月面又は月軌道における宇宙研究業務のシステムとの共用・両立性検討は不要であるとの見解について、共用・両立性検討の要否は、技術特性や周波数要件が完全ではないことから決定を保留すべきであることを提案した。
- ・ また、米国は、共用・両立性検討の要否の決定前に WP 7B から WP 5D へ連絡文書を送付することに反対したが、ロシアや WP7B 議長代理から、初期検討を行うことは必要であり、今後検討を進めていくうえで必要であるとの指摘から、WP 7B から WP 5D へ WRC-27 議題 1.15 に関する業務の技術特性及び保護基準を提供する連絡文書を送付することになった。しかしながら、米国が依然として反対したため、連絡文書では簡単な説明に留めることになった。
- ・ WP 5D への連絡文書案を審議し、プレナリへ上程(7B/TEMP/38)した。
- ・ WP 5D 議長代理及び WP 7B 議長代理から示された WRC-27 議題 1.7 と議題 1.15 で重複している周波数帯についての共用・両立性検討に関する見解についての SWG での議論を覚書にまとめ、WP 7B 議長代理に提出(7B/TEMP/22)した。

### (5)WRC-27 議題 1.15 と議題 1.13 で重複している周波数帯についての検討(2400~2690 MHz)

- ・ WRC-27 議題 1.13 に関する WP 4C への連絡文書案は SWG 7B-3 が検討していることから、WRC-27 議題 1.15 と議題 1.13 で重複している周波数帯についての共用・両立性検討のための技術特性や保護基準を提供する連絡文書の文章案を検討し、SWG 7B-3 に提示した。

(6)WRC-27 議題 1.15 と議題 1.19 で重複している周波数帯についての検討(8450～8500 MHz)

- ・ WP 7C からの連絡文書(7B/38)による要請に応じた WRC-27 議題 1.19 に関する WP 7C への返信連絡文書案は SWG 7B-3 が検討していることから、WRC-27 議題 1.15 と議題 1.19 で重複している周波数帯についての共用・両立性検討のための技術特性や保護基準を提供する連絡文書の文章案を検討し、SWG 7B-3 に提示した。

(7)ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] に向けた作業文書

- ・ WP 7B で進めている、月近傍領域での通信の運用構想を報告する ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] に向けた作業文書(7B/35 Annex 2)について、米国、日本、中国及びロシアから提案された更新案(7B/75、7B/83、7B/84 及び 7B/89)を審議した。
- ・ 各主管庁からの提案に基づき更新されたほか、中国から入力された情報に不足があったが、本報告は WRC-27 議題 1.15 のための共用・両立性検討に資する技術特性及び保護基準を報告している文書であり、CPM27-1 会合での決定に基づき本年 12 月までが期限であることから、本会合中に追加された。
- ・ フランスからの指摘により、検討対象の周波数帯情報において、UHF 帯は月遮蔽区域外に限定されていることが注記された。
- ・ WRC-27 議題 1.15 と議題 1.7 で重複している周波数帯についての検討についての作業にて検討されていた WP 5D への連絡文書案の審議において、米国が、連絡文書にて保護基準を提示することに反対したため、ロシアから提案された譲歩案として、本文書に、近地球領域の宇宙研究衛星の保護基準を勧告する ITU-R 勧告の参照が追加された。
- ・ ロシアは、米国が提案した電波天文の保護に関する規定を説明する項目について、共用・両立性検討の作業文書で取り扱うことで、本文書には関係することではないことを指摘し、米国は共用・両立性検討を報告する文書に移すことで同意し、削除された。
- ・ ロシアは、次回の会合で文書の構成の再構成を提案することを通知した。
- ・ 文書を作業文書から新報告草案に格上げすることが合意された。
- ・ WP7B 議長報告書に添付するため、プレナリへ暫定文書(7B/TEMP/40)を上程した。

(8)ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書

- ・ 米国から、WRC-27 議題 1.15 のための共用・両立性検討の結果を報告する ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書が提案(7B/74)された。

- ・ フランスからの指摘により、検討対象の周波数帯情報において、UHF 帯は月遮蔽区域外に限定されていることが注記された。
- ・ 米国から、27.0～27.5 GHz 帯は WRC-27 議題 1.15 の検討の対象に識別されている周波数帯ではあるが、すでに衛星間通信業務が分配されていることから、本文書での取扱いは不要であることが説明され、削除された。
- ・ WP7B 議長報告書に添付するため、プレナリハ暫定文書(7B/TEMP/30)を上程した。

#### (9)月宇宙研究業務の代表特性及び構想に向けた作業文書

- ・ 日本の特定の月ミッションの特性をまとめた文書(7B/35 Annex 3)の取扱いを確認した。
- ・ WP7B 議長代理は、将来的に各主管庁が情報を追加できることを説明し、次回の会合にて、技術特性を報告する ITU-R 新報告への取込みの可否について議論することが連絡された。
- ・ ロシアは、X 帯の宇宙から宇宙の通信は、特に地球から宇宙の宇宙研究業務との共用検討が必要である見解を示し、共用・両立性検討の結果を報告する ITU-R 新報告にて取り扱うべきであることを指摘した。
- ・ 今回の会合に寄与文書の入力はなかったため、継続して WP7B 議長報告書に添付するため、プレナリハ暫定文書(7B/TEMP/29)を上程した。

#### (10)WRC-27 議題 1.15 についての活動の進捗状況を連絡する寄与作業部会への連絡文書

- ・ WRC-27 議題 1.15 についての WP 7B の活動の進捗状況を WP 1B、WP 3J、WP 4A、WP 4C、WP 5A、WP 5B、WP 5C、WP 5D、WP 7A、WP 7C 及び WP 7D に報告するため、連絡文書案を審議し、プレナリハ上程(7B/TEMP/31)した。

#### (11) 7145～7190 MHz 帯にて運用している宇宙研究業務(深宇宙)局の 6425～7125 MHz 帯にて運用している IMT 局との調整

- ・ WP 5D から連絡文書(7B/68)にて、2023 年世界無線通信会議(WRC-23)の議題 1.2 の下での研究にて承認された決議第 220 に基づき、6425～7125 MHz 帯に特定された IMT 局と 7145～7190 MHz 帯にて運用している宇宙研究業務(深宇宙)局との調整のための新たな ITU-R 報告の作成に着手したことが通知され、ITU-R 新報告草案 M.[IMT-SRS] に向けた作業文書が提示された。
- ・ WP 5D へ返答することになり、返信連絡文書案を審議した。
- ・ 米国は、WP 5D が検討した宇宙研究業務の地球局と IMT 局との離隔距離の基本的な計算方法や計算パラメータに合意することを返答することを提案した。
- ・ ロシアは、本調整は、前回の研究会期にて既存の無線通信業務の将来の整備に制約を課さないことが条件となった研究結果に基づくものであり、将来的な宇宙研究業務の地球局の配置に制約となってしまう可能性について調整するもので、既存及び将来的な宇宙研究業務と IMT の調整ではないことを指摘し、WP 5D は文書の範

囲や計算方法について議論すべきであることを指摘し、ITU-R 新報告草案の表題の変更を提案することとした。

- ・ プレナリへ返信連絡文書案(7B/TEMP/36)を上程した。

#### (12) 宇宙研究通信ハンドブックの改訂

- ・ WP 7B で検討が進められている宇宙研究通信ハンドブックの改訂(7B/35 Annex 7)について、今回の会合で寄与文書の入力になかったことから、編集上の修正のみを行い、改訂作業を完了することとなった。次回の会合の研究委員会で承認を得て、序文の編集のために無線通信局へ送付する。
- ・ プレナリへ暫定文書(7B/TEMP/37)を上程した。

#### (13) その他の案件

- ・ 次回の会合から作業が開始される CPM 文章案の検討に関して、CPM-27 議長から入力された CPM 文章案への見解や枠組みについて説明されている寄与文書(7B/67)を了知した。

#### 5.1.4 SWG 7B-3(EESS 及び MetSat 業務等(WRC-27 議題 1.12、1.13、1.14 の一部及び 1.17, 1.19, 1.11 (EESS)を含む))

Phillipe Tristant 氏(EUMETSAT)が議長を務め、前回会合から持ち越された文書 3 件を含む 12 件の入力文書を審議した。全ての議論は SWG レベルで行われた。

- 入力文書: 7B/35 Annex 5、6、9  
7B/38(WP7C)、39(WP7C)、42(WP4C)、44(WP4C)、45  
(WP4C)、63(WP3L&3M)、72(米国)、73(米国)、76(米国)、  
86(中国)、91(フランス・ドイツ)  
出力文書: 7B/TEMP/21、25~28、34、41

#### 〔結論〕

他 WP 宛リエゾン文書 3 件の送付で合意した。

新 ITU-R 勧告草案に向けた作業文書 1 件、勧告改訂草案に向けた作業文書 1 件、新 ITU-R 報告草案 1 件、報告改訂草案に向けた作業文書 1 件、の合計 4 件の TEMP 文書を議長報告に添付して持ち越すことで合意した。

#### 5.1.4.1 WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13、1.14、1.17、及び 1.19 に関連する各議題の責任グループ宛の返答リエゾン文書

- ・ SWG 7B-3 が担当することになった WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13、1.14、1.17、及び 1.19 について、責任グループ宛のリエゾン文書案を作成した。

#### (1) WRC-27 議題 1.11

- ・ WRC-27 議題 1.11(1518-1544 MHz、1545-1559 MHz、1610-1645.5 MHz、1646.5-1660 MHz、1670-1675 MHz 及び 2483.5-2500 MHz 帯の宇宙から宇宙の回線のための技術上、運用上、規則上の手段の検討)の責任グループである WP4C から、共用検討のための技術・運用特性や保護基準などの情報を求めるリエゾン文書が送付された(7B/42)。本議題については SWG 7B-2 が

主体となってリエゾン文書を作成することになっていたため、SWG7B-1 としてはこれに含めるべき文案を提案することになった。

- ・ 確認の結果、対象となっている 1525-1535 MHz には、EESS は二次業務を含めて存在しないことを確認し、これを伝える文案を作成した。文案は SWG 議長を通じて SWG7B-2 に伝達され、7B/TEMP/24 の一部として採用された。

## (2)WRC-27 議題 1.12、1.13、1.14

- ・ いずれも WP4C が責任グループとなっている以下 3 つの議題については、それぞれ共用検討のための技術・運用特性や保護基準などの情報を求めるリエゾン文書(7B/43、44、45)が送付された。
  - WRC-27 議題 1.12(低データレート非静止移動衛星システムに必要な 1427-1432 MHz(↓)、1 645.5-1 646.5 MHz(↓↑)、1880-1920 MHz(↓↑)及び 2010-2025 MHz(↓↑)における移動衛星業務への分配及び規則上の措置の検討)
  - WRC-27 議題 1.13(地上 IMT ネットワークのカバレッジを補完するための、宇宙局と IMT ユーザ機器の直接接続のための移動衛星業務への新規分配に関する検討)
  - WRC-27 議題 1.14(第1地域及び第3地域の 2010-2025 MHz (↑)及び 2 160-2170 MHz(↓)並びに 2120-2160 MHz(↓)における移動衛星業務への追加分配の検討)
- ・ これに対し、米国からこれら 3 つの議題について 2GHz 帯の SRS と EESS については現在作成中の文書である新勧告草案 SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR]を参照することを伝えるリエゾン文書案(7B/72 Attachment 2)が提出されていた。
- ・ これら 3 つの議題について、それぞれの対象周波数帯に存在するシステムの技術特性等を掲載した個別のリエゾン文書を送付するか、1 通のリエゾン文書まとめるかについて議論されたが、最終的に重複もあるため 1 通のリエゾン文書にまとめることになった。
- ・ 具体的な情報をまとめた入力文書は提出されていなかったため、米国、ロシア、ESA などが調査を行い、対象となっている周波数帯に分配されている業務が特定され、議題毎の対応表とそれぞれのパラメータを入れたリエゾン文書案が作成された。
- ・ 当初、MetSat(1670-1710 MHz)、EESS、SOS 及び SRS(2025-2110 MHz)(2200-2290 MHz)が盛り込まれていたが、日本から SRS(深宇宙) 2110-2120 MHz 及び 2290-2300 MHz が分配されていることを指摘し、適切なパラメータを提供した。
- ・ 本文書には、SWG7B-2 で作成された、議題1.13と議題 1.15 の間で重複する周波数帯に関連する記述も盛り込まれていることから、4 つの議題に関連するリエゾン文書として WP4C に送付することで合意された(7B/TEMP/41)。

## (3)WRC-27 議題 1.17

- ・ WRC-27 議題 1.17(受信専用宇宙天気センサの規則上の規定及びその保護の検討)について、情報を求めるリエゾン文書(7B/39)が、責任グループである WP7C から送付されていた。
- ・ 会議においては、対象となるすべての周波数帯において、WP7B が関係する分配

は存在しないことが指摘された。このため、WP7B はこの議題に関心がないことを知らせる簡素なリエゾン文書を送付する一方で、SG 7 議長を通して CPM マネジメントに対して正式にこの議題の寄与グループから WP7B を外すよう申し出る文書を送付することが提案され、リエゾン文書案が作成された。

- ・ しかし、プレナリへの上程前に米国から非常に狭い SRS/SOS の分配があることが指摘され、実際に運用されている例は見つからなかったが、念のため記載したほうが良いとの意見が出された。このため、分配はあるが運用されているシステムがないとの記載を追加するなどの修正を行い、改めてプレナリに上程された(7B/TEMP/21 Rev1)。

#### (4)WRC-27 議題 1.19

- ・ WRC-27 議題 1.19(4200-4400 MHz 及び 8400-8500 MHz の周波数帯における、地球探査衛星業務(受動)への全地域の一次分配の検討)について、情報を求めるリエゾン文書(7B/38)が、責任グループである WP7C から送付されていた。返答リエゾン文書案は入力文書として提出されていなかったが、対象周波数帯と隣接する 8 025-8 400 MHz に EESS/MetSat の分配があることが紹介された。
- ・ ロシアから、共用検討を実施するか否かはそれぞれの主管庁の判断であるため 8 025-8 400 MHz の EESS ダウンリンクの技術情報を送付すべきであるとの意見が出された。また、WP7C からのリエゾン文書では、「8.4-8.5 GHz 帯は(中略)SRS (space-to-Earth)に分配(RR No. 5.465 に従い deep space に限定)とされている」とされているが、実際にはその限定がされているのは周波数が低い部分の 50MHz のみで残りは SRS(near-Earth)に分配されているため、返答をする際にこれを訂正すべきとの意見が出された。
- ・ SWG 議長らが本SWGの担当であるEESS/MetSatの分配と運用中のシステムのパラメータなどに関する調査を行い、他業務については他の SWG での議論の結果を待ち、本 SWG でまとめてリエゾン文書案を作成することになった。
- ・ 結果、SWG7B-2 から送られた、議題 1.15 との重複に関する内容と統合して暫定的なリエゾン文書案を作成し、WP7B に上程した(7B/TEMP/23)。

#### 5.1.4.2 ITU-R 報告 SA.2488-0 の改訂作業の開始と作業文書の作成

前回会合における WRC-27 議題 1.7 に関連する議論において、ITU-R 報告 SA.2488(地球探査衛星および気象衛星業務で運用されるシステムへの干渉評価及び共用検討に使用すべき特性)の改訂が必要であることが認識されたことから、同報告の改訂の提案があり、作業文書が作成された。

##### (1) 寄書紹介

- ・ 7B/76(米国)
  - 既存システムに関する記述を MIFR に登録されている内容に合わせて修正することに加え、新たなシステムに関する情報を追加したものである。
- ・ 7B/86 (中国)
  - 関連する ITU-R 勧告リストに ITU-R 勧告 SA. 1810-1、SA. 1026 を追加する他、新たな衛星のパラメータの追記と既存衛星のパラメータの一部修正を提案したものである。
  - ロシアから、Table 3-1 については共用検討に使用するパラメータであるため、

ITU-R 勧告 SA. 1027(地球低軌道衛星を利用した地球探査衛星及び気象衛星業務における宇宙-地球間データ伝送システムの共用基準)を参照すべきである旨がコメントされた。

- また、SG 7 議長からは、新たに追加されたものの中で、適切なパラメータについては議題 1.7 のリエゾン文書に活用すべきであるとの見解が示された。これらの修正は、米国が別途提出している WRC-27 議題 1.7 関連リエゾン文書案(7B/79)の Annex にも同じ内容が含まれていることが説明された。

## (2) 審議結果

- ・ 米国と中国の間で寄与文書を統合し、作業文書を作成した(7B/TEMP/25)。特段の議論はなく、次回以降に作業を続けるため、議長報告に添付して持ち越すことで合意した。

### 5.1.4.3 ITU-R 勧告 SA.514-3 改訂草案に向けた作業文書の更新

- ・ SWG7B-3 において、前研究会期から持ち越されてきた ITU-R 勧告 SA.514-3(地球探査衛星業務および気象衛星業務で運用されるコマンド及びデータ伝送システムの干渉基準)改訂草案に向けた作業文書について審議が行われた。
- ・ 本文書は勧告改訂草案に向けた作業文書として2021年の会合以降入力文書がなく持ち越されてきた。しかし、WRC-27 議題 1.7(IMT 特定)で扱われる周波数帯における保護基準なども記載されている重要な勧告であり、改訂作業を再開するため入力文書を募ることで合意していたが、前回に引き続き、今回会合においても新たな入力文書はなかったため、今後作業を継続するかを含めて議論された。

## (1) 寄書紹介

- ・ 今回新たな寄与文書がないことから、持ち越された文書(7B/35 Annex 6)の内容を確認した。本勧告は、周波数帯が他の勧告で扱われていない場合に使用されるものであることが説明された。
- ・ 現状では、本文中に追加することが予定されている表及び Annex については中身が入っていないが、この勧告において重要な情報であることが説明された。

## (2) 二次分配の追加

- ・ SWG 7B-3 議長が簡易的な調査を行ったところ、現在特定されている以外の周波数帯に一次分配があることが分かったとして表に 40GHz 帯の欄が追加された。さらに、現在一次分配のみが扱われているが、いくつか二次分配も存在するとして、これらも追加すべきかどうか議論された。
- ・ ロシアは、将来の WRC 議題のための共用検討に使用する可能性を考慮し、二次業務を含めるべきであるとの意見を述べたことから、その旨を記載した Editor's Note を追加し、次回会合で検討を続けることになった。
- ・ 以上、本文書については次回会合に向けて主管庁や宇宙機関からの寄与文書を呼び掛けることとし、修正した文書を議長報告に添付して持ち越すことで合意した(7B/TEMP/26)。

### 5.1.4.4 新 ITU-R 勧告草案 SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR]

- ・ SWG 7B-3 において、新勧告草案 SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR](干渉評価及び共用検討のために使用される、2025-2120MHz 帯(地球-宇宙)で運用

される SRS 及び EESS システムの技術・運用特性)について審議された。

#### (1) 寄書紹介

- ・ 7B/72(米国)
  - ・ 本勧告草案は WRC-27 議題 1.12、1.13、1.14 と関連することから、標題の新 ITU-R 勧告草案 SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR]の作業文書に新たに 2025-2110 MHz 帯の衛星間通信のパラメータを追加すると共に、本文書を作業文書から新勧告草案に引き上げることを提案した。
  - ・ なお、本寄与文書には WRC-27 議題 1.12、1.13、1.14 に関連した技術情報を WP5D に送付するためのリエゾン文書の素案も Attachment 2 として添付されていたが、この箇所についてはこれらの WRC-27 議題に関するリエゾン文書の作成に係る議論で扱われた。

#### (2) 新 ITU-R 勧告草案への格上げ

- ・ 米国の入力文書にロシアが提案した追加(アンテナパターン)を行った TEMP 文書が作成された。特段の議論はなく、プレナリで提案通り勧告草案に格上げすることが確認され、議長報告に添付され持ち越すことで合意した。

#### 5.1.4.5 新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHz]に向けた作業文書

- ・ SWG 7B-3 において、新 ITU-R 報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHz](非政府組織が 7-8GHz 帯で運用する地球探査衛星業務用の衛星システムに関する技術・運用特性)について審議された。

#### (1) 寄書紹介

- ・ 7B/91(フランス・ドイツ)
  - ・ 章立てのみとなっていた文書の各章の内容を追記したものである。米国から、提案された内容に複数の懸念点があるとの発言があり、提出者と米国との間でオフライン協議を行うことで合意した。

#### (2) 「non-governmental(非政府系)」表記について

- ・ 前回から検討課題とされていた“non-governmental”という文言については削除することになり、オフライン協議では“next generation(次世代)”に代替することが提案された。しかしロシアから、本文中では現在進行している進化について書かれており、矛盾していることが指摘され、どちらも使用しない「Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz(7 190 から 8 400 MHz 帯 EESS の進化)」と修正された。
- ・ これに伴い、「Non-governmental」の文言を見直すとした Editor's Note を削除し、代わりにタイトルの修正に伴い本文中のテキストと図についても見直しが必要である旨の新たな Editor's Note が追加された。

#### (3) 新報告の作成の是非

- ・ 米国から、7/8GHz 帯の EESS については ITU-R 報告 SA.2275 で扱われていることから、新たな報告を作成する必要性について改めて疑問が呈された。しかし、ドイツから、同報告は宇宙機関のシステムのみを掲載しているところ、近年増加

している商用システム/非政府系システムについて扱うために新たな報告の作成を提案していると反論した。当面、新 ITU-R 報告の作成を前提に作業を進めることになった。

#### (4) 気象衛星(MetSat)の扱い

- ・ 米国から、EESS に関する報告であるにもかかわらず、同周波数帯の MetSat の項目があることが懸念点として提起された。ドイツは同周波数帯には MetSat の分配もあるため念のため追加した項目であるとして、削除に応じた。

#### (5) WRC-27 議題 1.7 との関連性に関する Editor's Note

- ・ 今回合中に Editor's Note 4 として、本文書が WRC-27 議題 1.7 と関連しており、必要に応じて WP5D に情報を提供する旨が記述された。この記述については自明であるとして削除が検討されたが、議題に関する検討は進行中であることから、削除は見送られた。

#### 5.1.4.6 その他

- ・ ITU-R 勧告 SA-1277-0(8 025-8 400 MHz 帯における地球探査衛星業務と固定、固定衛星、気象衛星、移動業務との共用)について、1997年に策定されて以来改訂されていないことから、2024年3月会合において改訂作業の開始で合意し、入力文書の提出が奨励された(作業文書は作成されなかった)。しかし、今回合中には寄与文書が提出されなかったことから、改訂作業は開始されなかった。

表 4 入力文書一覧

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
35	WP 7B 議長代理	Report of the meeting of Working Party 7B (Geneva, 18-22 March 2024)	Plenary	—
Annex	1	Work plan for WRC-27 agenda item 1.15 and Resolution 680 (WRC-23)	SWG 7B-2	5 (Rev.1)
	2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] - Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	SWG 7B-2	40
	3	Working document towards representative characteristics and concepts of operation for lunar SRS	SWG 7B-2	29
	4	Draft liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7C and 7D) - WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
	5	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHz] - Existing and future development of [non-governmental*] systems under the Earth exploration-satellite service in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	SWG 7B-1	34
	6	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.514-3 - Interference criteria for command and data transmission systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services	SWG 7B-3	26
	7	Preliminary draft revision of the Handbook on space research communication (2014)	SWG 7B-2	37
	8	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.2141-0 - Characteristics of space research service systems in the frequency range 14.8-15.35 GHz	SWG 7B-1	18
	9	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems that use the 2 025-2 120 MHz (Earth-to-space) frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	SWG 7B-3	27
	10	Elements for a possible revision of Recommendation ITU-R SA.1743	SWG 7B-1	15
	11	Preliminary draft new [Report/Recommendation] ITU-R SA.[2 GHz SOS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands	SWG 7B-1	33
	12	Terms of Reference Correspondance Group on WRC-27 agenda item 1.7 - Development of a liaison statement to WP 5D, including relevant material, in response to the WP 5D request regarding information related to WRC-27 AI 1.7	SWG 7B-1	—

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
36	WP7C	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B and 7D for information) – WRC-27 agenda item 1.1	Plenary	16
37	WP7C	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7B and 7D for information) – WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
38	WP7C	Liaison statement to Working Parties 3M, 4A, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A and 7B (copy to ICAO for information) – WRC-27 agenda item 1.19	SWG 7B-3	—
39	WP7C	Liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B and 7D – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.17	SWG 7B-3	21 (Rev.1)
40	CCV 議長	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)	Plenary	—
41	WP4C	Reply liaison statement to Working Party 7B regarding WRC-27 agenda item 1.15 – Technical information to support studies under WRC - 27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	20
42	WP4C	Liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D – WRC-27 agenda item 1.11	SWG 7B-1/2/3	24
43	WP4C	Liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D (copy to Working Party 4A for information, and action if any) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.12	SWG 7B-3	41
44	WP4C	Liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D – Technical information to support the studies for WRC-27 agenda item 1.13	SWG 7B-3	41
45	WP4C	Liaison statement to Working Parties 3L, 4B, 5A, 5C, 5D, 7B, and 7C (copy to Working Party 4A for information, and action if any) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.14	SWG 7B-3	41
46	WP4A	Liaison statement to Working Parties 3M, 5B, and 7B (copy to Working Parties 5A, 5C, 7A and 7C for information) – Relevant technical information to support studies under WRC - 27 agenda item 1.2	SWG 7B-1	17 (Rev.1)
47	WP4A	Liaison statement to Working Parties 3M, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B and 7D (copy to Working Party 7C for information) – Information to support studies under WRC-27 agenda item 1.1	SWG 7B-1	16
48	WP4A	Reply liaison statement to Working Party 7B – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	—
49	WP5B	Liaison statement to Working Party 7B – Relevant technical information for sharing studies under WRC-27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	—
50	WP5B	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 5A, 5C, 7A, 7B and 7C) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.2	Plenary	17 (Rev.1)
51	SG4	Liaison statement to Study Groups 5 and 7 (copy to Study Group 1 for information) – Activities in	Plenary	42

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
		response of Resolution 219 (Bucharest, 2022) and Resolution ITU-R 74		
52	WP5B	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy for information to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5C, 7B, 7C, 7D and ICAO) – Relevant technical information for sharing studies under WRC-27 agenda item 1.7	Plenary	43
53	WP5C	Reply liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 3M, 4A, 5A, 5B, 5D and 7B for information) – Fixed service characteristics for use in sharing studies under WRC-27 agenda item 1.19	Plenary	23
54	WP5C	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C and 7D for information) – Fixed service characteristics for use in sharing studies under WRC-27 agenda item 1.7	Plenary	43
55	WP5C	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D for information) – Fixed service characteristics for use in sharing studies under WRC-27 agenda item 1.13	Plenary	41
56	WP5C	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 1B, 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 7A, 7C and 7D for information) – Fixed service characteristics for use in sharing studies under WRC-27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	—
57	WP3K、 3M	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7B, 7C and 7D for information) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.7	Plenary	43
58	WP3J	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	19
59	WP3J、 3M	Reply liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 4A, 5A, 5B, 5C, 5D and 7B for information) – WRC-27 agenda item 1.19	Plenary	23
60	WP3L、 3M	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D for information) – Studies under WRC-27 agenda items 1.11, 1.12, 1.13 and 1.14	Plenary	41
61	WP3M	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7A, 7B and 7C for information) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.2	SWG 7B-1	17 (Rev.1 )
62	WP3M	Reply liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D for information) – Information to support studies under WRC-27 agenda item 1.1	Plenary	16
63	WP3L and 3M	Reply liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B and 7D for information) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.17	SWG 7B-3	21 (Rev.1 )

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
64	WP5D	Reply liaison statement to Working Parties 4C and 7B for WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, 1.14 and 1.15 – Technical and operational characteristics of HIBS for sharing and compatibility studies in preparation for WRC-27	SWG 7B-2	–
65	WP5D	Initial reply liaison statement to Working Parties 7B and 7C – Relevant technical information to support studies under WRC -27 agenda items 1.15, 1.17 and 1.19	SWG 7B-2	–
66	WP5D	Liaison statement to Working Parties 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7B, 7C and 7D – WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
67	CPM-27 議長	Information on the preparation of texts for the draft CPM Report to WRC-27	SWG 7B-2	–
68	WP5D	Liaison statement to Working Party 7B – Possible coordination of space research service (deep space) stations operating in the band 7 145 - 7 190 MHz with IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	SWG 7B-2	36
69	WP5D 宛返答リエ ゾン文書に 関するCG コンビナー	Report on the activities of the WP 7B Correspondence Group related to WRC -27 agenda item 1.7	WP 7B Plenary, SWG 7B-1	43
70	Azerbaijan	Interpretation to the wording "Major portion of the Earth atmosphere" used in Article 1, Nos. 1.64 and 1.178 of the Radio Regulations	Plenary	–
71	ブラジル	Committee on the Peaceful Uses of Outer Space: 2024 – Sixty-seventh session (19-28 June 2024) – Space Sustainability Issues	Plenary	–
72	米国	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems that use the 2 025-2 120 MHz (Earth-to-space) frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	SWG 7B- 1/3	27
73	米国	Draft reply liaison statement to Working Party 4C –Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 200-2 290 MHz and 2 290-2 300 MHz bands for use in sharing and compatibility studies	SWG 7B-3	41
74	米国	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] – Working document on sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC -27 agenda item 1.15	SWG 7B-2	30
75	米国	Working document towards a preliminary draft new Report ITU - R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	SWG 7B-2	40
76	米国	Preliminary draft revision of Report ITU - R SA.2488-0 – Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing studies	SWG 7B-3	25

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
77	米国	Proposed revisions to preliminary draft new [REPORT/RECOMMENDATION] ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	SWG 7B-1	33, 41
78	米国	Draft reply liaison statement to Working Party 4A – Characteristics of space research service systems operating in the 13.75-14.0 GHz band	SWG 7B-1	17 (Rev.1)
79	米国	Proposed revisions to reply liaison statement to Working Party 5D on WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
80	カナダ	Preliminary draft new [REPORT/RECOMMENDATION] ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025 - 2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	SWG 7B-1	33
81	WP5D 議長代理 及び WP7B 議長代理	Consideration on the overlapping frequency band 7 190-7 235 MHz between WRC-27 agenda items 1.7 and 1.15	SWG 7B-2	22
82	日本	Proposed modification to preliminary draft new [REPORT/RECOMMENDATION] ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] – Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space - to-Earth) space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	SWG 7B-1	33
83	日本	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	SWG 7B-2	40
84	中国	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] – Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	SWG 7B-2	40
85	中国	Proposed reply draft liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7C and 7D) – WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
86	中国	Proposed amendments to Report ITU-R SA.2488 - 0 [CHARACTERISTICS TO BE USED FOR ASSESSING INTERFERENCE TO SYSTEMS OPERATING IN THE EARTH EXPLORATION-SATELLITE AND METEOROLOGICAL-SATELLITE SERVICES, AND FOR CONDUCTING SHARING STUDIES]	SWG 7B-3	25
87	韓国	Considerations on technical characteristics and deployment scenarios of EESS, MetSat and SRS	SWG 7B-1	43

文書番号 7B/…	提出元	題目	担当 SWG	出力文書 7B /TEMP/*
		systems for compatibility and sharing study of WRC-27 agenda item 1.7		
88	エジプト、 サウジアラ ビア	Draft reply liaison statement to Working Party 5D – Technical and operational characteristics for (EESS) (space-to-Earth) systems in the band 8 025-8 400 MHz	SWG 7B-1	43
89	ロシア	Proposals to the working document towards a preliminary draft new Report ITU - R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR]	SWG 7B-2	40
90	フランス、 ドイツ	Proposed reply liaison statement to Working Party 5D on WRC-27 agenda item 1.7	SWG 7B-1	43
91	フランス、 ドイツ	Proposed modifications to the working document towards a draft new Report ITU-R SA. [EESS NGS 7-8GHZ]	SWG 7B-3	34
92	ドイツ	Proposed draft reply liaison statement to SG 4 – Consideration on the possible impact and/or support of Working Party 7B regarding the collaboration between Study Groups 4 and 7 on activities in response of Resolution 219 (Bucharest, 2022) and Resolution ITU-R 74 (RA-23)	WP 7B Plenary	42
93	BR SG Dept	List of documents issued (Documents 7B/35 – 7B/93)	—	

表 5 出力文書一覧

※議長報告=7B/97

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書	処理
15	Elements for a possible revision of Recommendation ITU-R SA.1743	7B/35 Annex 10	議長報告に添付 (Annex 6)
16	Proposed reply liaison statement to Working Party 4A regarding WRC-27 agenda item 1.1	7B/36、47、62	WP 4A 送付
17 (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - Characteristics of space research service systems operating in the 13.75-14.0 GHz band	7B/46、50、61、78	WP 4A 送付
18	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.2141-0 - Characteristics of space research service systems in the frequency range 14.8-15.35 GHz	7B/35 Annex 8	議長報告に添付 (Annex 7)
19	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 3J (copied for information to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D) - Response to Working Party 3J questions related to WRC-27 agenda item 1.15	7B/58	WP 3J へ送付 (WP 4A、WP 4C、WP 5A、WP 5B、WP 5C、WP 5D、WP 7A、WP 7C、WP 7D へ写し送付)
20	Reply liaison statement to Working Party 4C regarding WRC-27 agenda item 1.15 - Technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	7B/41	WP 4C 送付
21 (Rev.1)	Liaison statement to Working Party 7C on WRC-27 agenda item 1.17	7B/39、63	WP 7C 送付
22	Note to Acting Chair Working Party 7B - Interim Report on SWG 7B-2 Discussion of Document 7B/81	7B/81	議長報告の一部として統合
23	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 4A (copied for information to Study Groups 4, 5 and 7) - Activities in response of Resolution 219 (Bucharest, 2022) and Resolution ITU-R 74 (RA-23)	7B/51、92	修正版が TEMP/41 として発行
24	Draft reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C regarding WRC-27 agenda item 1.11 - Technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.11	7B/42	WP 4C 送付
25	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 - Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing and compatibility studies	7B/76、86	議長報告書添付 (Annex 4)
26	Working document toward a preliminary draft Revision of Recommendation ITU-R SA.514-3 - Interference and sharing criteria for command and data transmission systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services	7B/35 Annex 6	議長報告書添付 (Annex 5)
27	[Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	7B/35 Annex 9、72	議長報告書添付 (Annex 8)

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書	処理
28	Liaison statement to Working Party 7C on WRC-27 agenda item 1.19	7B/38、53、59	WP 7C 送付
29	Working document towards representative characteristics and concepts of operation for Lunar SRS	7B/35 Annex 3	議長報告書添付 (Annex 9)
30	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	7B/74	議長報告書添付 (Annex 2)
31	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 1B, 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D - Report on progress of activities relating to WRC-27 agenda item 1.15	—	WP 3J、WP 4A、WP 4C、WP 5A、WP 5B、WP 5C、WP 5D、WP 7A、WP 7C、WP 7D へ送付
32	This document has been withdrawn	—	取り下げ
33	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHZ SOS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space operation service (SOS) systems that use the 2 025-2 110 MHz (Earth-to-space) (space-to-space) and 2 200-2 290 MHz (space-to-Earth) (space-to-space) frequency bands to be used for assessing interference and for conducting sharing studies	7B/35 Annex 11、77、80、82	議長報告書添付 (Annex 10)
34	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHZ] - Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	7B/35 Annex 5、91	議長報告書添付 (Annex 11)
35 (Rev.1)	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Revised work plan for WRC-27 agenda item 1.15 and Resolution 680 (WRC-23)	7B/35 Annex 1	議長報告書添付 (Annex 3)
36	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Possible coordination of space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz with IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	7B/68	WP 5D 送付
37	Draft revision of the Handbook on Space research communication (2014)	7B/35 Annex 7	議長報告書添付 (Annex 12)
38	Draft liaison statement to Working Party 5D regarding WRC-27 agenda item 1.7 - Technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.7	—	WP 5D へ送付
39 (Rev.1)	Proposed reply liaison statement to Working Party 4A regarding WRC-27 agenda item 1.6	—	WP 4A 送付
40	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] - Technical and operational characteristics for space research systems in the vicinity of the Moon	7B/35 Annex 2、75、83、84、89	議長報告書添付 (Annex 1)
41	Reply liaison statement to Working Party 4C on WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, 1.14 and 1.15	7B/43、44、45、55、60、73、77	WP 4C 送付

文書番号 7B/TEMP/*	題目	入力文書	処理
42	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 4A (copied for information to Study Groups 4, 5 and 7) - Activities in response to Resolution 219 (Bucharest, 2022) and Resolution ITU-R 74 (RA-23)	7B/51、92	WP 4A 送付
43	Reply liaison statement to Working Party 5D on WRC-27 agenda item 1.7 (copy to Working Parties 1B, 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7C and 7D)	7B/35 Annex 4, 37, 52, 54, 57, 66, 69, 79, 85, 87, 88, 90	WP 5D 送付